

市民ネットワーク・の다가通信

No.96
2010年2月

野田市議会議員
中井 洋子
野田市西三ヶ尾484-96
岡田さわこ
野田市山崎2553-49

編集発行：市民ネットワーク・の다가 住所：野田市大殿井 83-20 Tel：7123-6981 Fax：7123-6982
http://www10.ocn.ne.jp/~nodanet/ Eメール shiminnetnoda@chorus.ocn.ne.jp

またもや異常な白煙が立ち込めた！ 即刻稼働停止に！

(有) 柏廃材処理センター
(産業廃棄物処理施設)

11月14日(土)午前9時20分頃に視界不良になるほどの異常な白煙が、柏廃材処理センターから出ました。あたり一面真っ白になり、胸がしめつけられるような異臭で、地元の人には外にいられなくなり室内に避難しました。呼吸がおかしくなり、動悸が2時間ほどあった人もいたそうです。消防車が出動しましたが、7月30日の白煙があがった時と同様に、火事ではないために県と市に連絡したただけでした。県のパトロール班が12時頃到着した時には、「臭いは確認したが、異常はみられなかった」ということで終わってしまいました。到着まで2時間以上もかかり、毎回すぐに対応出来ない状況が続いています。「今回の原因は、柏廃材処理センターが点検をするため、温度を下げるのを丁寧に操作しなかったため起きたことだが、起こってはいけません」と言えない」と12月議会でも答弁しました。地域の人が異臭で避難しなければならなかったりする事態や健康に被害が出ている状況を市は重く受け止め、稼働を一時停止にすべきではないでしょうか。

42%もの人に健康被害 いまだに原因究明すすまじ

野田市は柏廃材処理センターの半径500メートルの範囲に健康調査を実施しました。(9/10と9/11)市民への配布枚数339枚中、回答枚数276枚で回収率は81パーセントで、そのうちの42パーセントのほとんどはのどや目、鼻の異常を訴えてました。半数近い人が健康に異常を感じているのに、市は県知事宛てに報告して「調査指導のお願い」をしただけに終わっています。

なぜ市は県と協定を結んで 立ち入り調査をしないのか！

県との協定を結ぶように12月議会でも再度取り上げましたが、市長は県任せにして立ち入り調査権を申し出ることもしていません。これだけの被害が出ていることがはっきりと数字にも表れているのですから、稼働停止にして市も立ち入り調査をして原因を究明していくべきです。今、直接的に体に異常を感じなくても、目に見えない形で体に有害物質が蓄積されていく恐れがあると専門家も指摘しています。事故が発生しても稼働し続ける柏廃材処理センターが早急に稼働を停止するように、被害者の会と11月24日県に申し入れ、12月1日に市長宛てに要望書を提出しました。

(岡田さわこ)

市民からの批判逃れだけの 議員定数削減は問題だ！

今年5月の野田市議会議員選挙から、議員定数が4人少ない28人となる事が12月議会で決まった。地方議会の議員定数は国勢調査人口をもとに地方自治法で定められているが、定数以下なら采例で人数が決められる。しかし野田市は合併後関宿地域の議員が減り、今後偏りが起きる事も考えられる。さらに地盤や知名度のない新人が議員になるのも難しくなり、多様な市民意見が反映されず、議会の機能低下が心配だ。

財政問題なら、議員報酬の削減でも可能だった。12月議会には、市長・副市長・教育長などの10%報酬削減があったので、議員報酬も合わせて削減すれば、人数を減らす必要はないと市民ネットワークは発言してきた。何をやっているのかわからない議員、議会が機能していないという市民感情は確かにある。しかし、議員削減により市民の厳しい批判を和らげようなどと考えず、市民の失望感を払拭するよう、議会や議員の活発な活動によってその存在価値を示すことが必要だ。

現在野田市議会では、議会基本条例策定をめざし始めたばかり。市民が直接関与できる議会や、夜間休日議会等、市民の真の利益に繋がる取り組みが必要だ。このような意識のない議員は、いろいろな事になるが。

(中井洋子)

一歩前進！市報・HPの連携で 情報提供改善へ！

市民へ情報を届けるのは市の責務だが、正確に発信されていない。市民とのコミュニケーション能力を高めて、改善して欲しい。

中井 市の障がい者ガイドブックは、国に合わせて改正版を作っていますが、古いガイドブックを持っている人には、どのように知らせているのでしょうか。

保健福祉部長 周知については市報やHP、個別通知など出来る限り行っています。

中井 しかし、公民館には古いガイドブックが置かれているという報告があります。他市のように、HPにページごとに掲載する事で、改正があった時にも判りやすく明示できると思いますが。

保健福祉部長 個別に説明することが重要ですので考えていません。

中井 次にHPと市報についてですが、HPの「審議会開催のお知らせ」は余裕を持つ



市議 岡田さわこ
市議選予定候補者 小室みえこ
市議 中井洋子

市民ネットワーク

12月議会レポート

保育所、保育士の 自己評価制度の 導入を！

子どもの権利が
守られる保育とは？

野田市内の公立保育所の長時間保育指導員から日常の保育に問題があるという相談がありました。「日常的に手をピシヤリと叩かれる」「子どもの名前を呼び捨てにしている」

「2歳児の部屋では、床にガムテープが貼られて、出席をとる時など正座をさせられ、テープからはみだすと怒鳴られる」「抱っこしてと言うと赤ちゃんのクラスに行きなさいと言われる」「1歳児はお昼寝の前にトイレに丸裸で行かせている」などの保育が行われているという内容でした。児童家庭課に相談しても体罰を容認するような保育をストップと主張し現場に任せてとっていたのです。

保育所を視察してみると

平日と土曜日の2日間にわたり保育所に視察に行くと改善が必要な点がありました。1歳児の給食の時間

で載せるべきですが、11月20日に開かれた「コミュニケーションバス検討専門委員会」は、開催の3日前にアライバイ的に載せているようでした。市の情報提供についての任意意識が問われます。

総務部長 H18年に要綱を設け、遅くとも1週間前に載せる事になっていましたが、同様なものが今年度6件ありました。今後全職員に周知徹底させていきます。またこれからは、日時だけでも確定したら載せるようにします。

中井 市報も同様で、12月の地域福祉審議会の日程変更も大変わかりにくく、HPとも連携していませんでした。総務部長 市報掲載の審議会等の開催日に変更があった場合は、今後HPに掲載するように改善します。審議会開催のお知らせも今後、より見やすくしていきます。

中井 市民からは、市HPに公民館やコミュニティ会館などの市民が楽しめる情報も載せて欲しいと指摘がありました。また「サイト内探索」も改善が必要ですが。

企画財政部長 市のHPは、市民への説明責任を果たす事が目的ですが、緊急性や広く知らせる必要がある場合は、今後HPでも検討していきます。「サイト内探索」の表示項目も検討してみます。

(中井洋子のコメント)

新年度からHPに市役所1階のふれあいギャラリーの予定表も載った！しかし、9月の決算委員会の会議録が12月になっても出来ていない、これも改善が必要だ。

では、おかずを1つ1つ味わうことをしないで全て混ぜてごはんの上に乗せ食わせていました。良く噛んで、食べる意欲を育て味覚の形成を培うことよりも、早く食べる事が目的となっていて、食育の点からも間違った言葉かけがされています。1、2歳児のお昼寝の前に心地良い眠りに誘うBGMや創造性を膨らませる絵本の開き読みが必要ですが、早く寝かしつけることが先行されていました。また1、2歳児ならば保育中に何度も抱っこされる場面があつて当然ですが、見られませんか？

岡田 保育の現場でしつけという大義名分を使って、軽くでも叩いて叱ったり、子どもを怒鳴ったり、呼び捨てにするのは子どもの人権を大切にしないと考えます。保育指導員の採用にあたって児童家庭課や保育所長の面接がなく、いきなり保育室での保育をしていると聞いていますが、事前に保育観やどんな子育てをしたのかを確認したり、保育所保育指針や野田市保育理念の説明はしているのでしょうか。

保健福祉部長 通常の面接試験は行っていません。所長と先輩の保育士から学んでもらい

岡田 保育所保育指針が改正になり、自己評価のガイドラインが出て近隣



不燃物処理施設建設は 現施設の計画も明らかに！

市の不燃物処理施設建設は、PF1の計画が失敗し、新たに目吹地区を建設予定地として地元自治会の了承も得て、今後協定書を取り交わす。

新施設建設には、市民ネットワークが訴え続けた市民公募の委員を加えた「新不燃物処理施設建設に係わる懇談会」を設置し、行政主導の公共事業に批判的な法政大学の五十嵐敬喜さんを委員とした、これまでの野田市にはみられなかった委員構成としたが：

中井 1回目の12月3日には、この会に何を求められているのか判らないと、2人の委員から意見がありましたが、これまでの審議会や委員会同様、お飾りに使うのでしょうか。建設局長 1回目は周辺環境やデザイン、施設の作業環境などの意見を頂き、2回目に説明いたします。

中井 入札は高度技術提案型総合評価方式ですが、国土交通省のHPには競争入札者と高度な技術をやり取りするので、契約手続き期間が長くなる」と指摘されています。H25年4月稼動に間に合うのか、また、この3年間の民間委託料はいくらなのか。



保護者無視の学童保育所委託問題

保護者の 意見を取り入れて！

第二学童保育所の分割(市長は新設と言いつ張り、保護者の合意はいらないと答弁した)の説明会が12月1日に保護者や指導員70名近い出席の中で開かれました。市側は、分割する学童保育所のほんの1行ずつの説明文が載っているだけの不十分な資料の提示をしただけでした。保護者の怒りと不満の声があり、夜の10時半にも及びました。「七光台学童では説明会を何度でもすると聞いたのに、打ち切ったのは約束違反ではないのか。過密化を解消したいのは保護者も一緒。市は保護者が反対して理解が得られないと言っているが私たちの本意ではない。プレゼンテーションをきちんと行って、保護者の意見をいれてほしい。」これに対して市は9月議会答弁と同じ「新設だから市が責任をもって作る」の一点張りでした。かたくなに保護者を無視する市の姿勢は許せません。

子どもの目線から の保育

保育所は、誰のためのものでしょうか？

勿論、仕事をもつ親のためのものという側面もありますが、第一に働く親をもつ「子ども」のための場所と考えることが自然だと思えます。保育所で働き、たくさんの子どもたちと接し、保護者の声を聞く中で、そのあたりまえのことが置き去りにされていると感じ、昨年保育所を考える「まゆの会」を立ち上げました。

給食を食べることも、お昼寝さえも、急いで、より速くすることが求められ、ゆつくり楽しく自分のペースの子どもは怒鳴られてしまう。多忙な大人の速さを子どもに要求している保育所が存在しています。「も」と急いで、もつとたくさんやって」を合言葉に、私たち大人は、過酷な競争社会や受験戦争、環境破壊を作り出してしまいました。今はその代償を払っている時代と言われています。私たちは、立ち止まらなくてはいけないのではないのでしょうか？子どもたちには、のんびりと、温かく見守られながら育ててほしいと願います。そして、大人になって、豊かに実ってほしいと願います。

「まゆの会」では、働くお母さんの声を集める活動をしています。その

中で今、子どもの心を何より大切に守る保育を望む声が多く寄せられています。子どもを急がせるあまり怒鳴ったり、規則を守らせるためには子どもの心に寄り添うことは後回しという保育には不安の声があがっています。子育てに正解がないように、絶対に正しい保育というものはなく、常に模索が必要です。活動を通し、みんなで一緒に模索していきたいと思っています。

十一月には、「子どもの目線からの保育」をテーマに、保育について造詣の深いジャーナリストの猪熊弘子さんの講演会を、市民ネットとの共催で開催しました。猪熊さんは「子どもの人間としての権利を守る」ことが何より大切」とおっしゃり、民営化や最低基準の緩和を例にとり、あらゆるものが経済優先、効率優先の「大人の目線」で進められている今の保育行政に、問題を投げかけました。

子どもを「管理する」保育所ではなく、子どもを「信じて見守る」保育所が求められ始めています。それを実現することが、子どもたちの明るい現在、そして未来を保障すべき私たち大人の責任ではないでしょうか。

保育所を考える「まゆの会」



代表 本田真夕

街づくり協議会・のだ主催 学習会

「介護保険って何？」

他の制度との関係や事例をあげた説明など

日時) 3月27日(土) 13時半～15時半

場所) 北部公民館(講座室)

講師) 河辺節子さん
「生活クラブ流山介護ステーションあいの手」

問合せ先) 市民ネットワーク・のだ (参加費無料)

●市政相談 暮らしの中で困ったこと、心配ごと、市への提案など何でもご相談下さい。
中井洋子・岡田さわこが個別にお話を伺い、解決に向けてお手伝いします。

お問い合わせ・ご連絡は…市民ネットワーク・のだ事務所 7123-6981

中井 洋子	7138-2640	西三ヶ尾	菊地多鶴恵	7129-6088	五木新町
岡田さわこ	7121-1162	山崎	小原八枝子	7125-1544	清水
田口いく子	7129-4297	岩名	宮野 洋子	7124-8023	目吹
小林 恵子	7127-4200	日の出町	村上 和子	7138-3176	三ツ堀
滑川 邦子	7138-2388	瀬戸	梶田 博	7125-3912	山崎

会員募集中です。活動に共感してくださる方、カンパによる援助をしてくださる方も歓迎です
振込先 市民ネットワーク・のだ 口座番号 00110-6-84099 (郵便局から2000円)

香山リカさん 講演会

「精神科医からみた現代社会
—その問題と社会—」



4月18日(日) 1時開演(12時半受付)
野田東武ホテルにて

チケット) 前売り 800円 当日 1000円(多少有り)
主催) 市民ネットワーク・のだ TEL7123-6981
問合せ先)